

西大須賀の神楽

江戸時代から
途切れることなく

市無形民俗文化財に指定されている西大須賀の神楽が4月14日、八幡神社に奉納されました。この神楽は江戸時代から途切れることなく続けられてきたもので、現在も保存会の人たちにより大切に継承されています。晴天となった当日、色鮮やかな花飾りの立てられた神楽櫃が子どもたちによって引かれ、八幡神社に到着。神事の後に拝殿で獅子舞が奉納されました。その後、地区内の新築の家などでも獅子舞が披露され五穀豊穡、無病息災が祈願されました。



幣束の舞い

田園風景の中を行く神楽櫃

かぶと・こいのぼりを作ろう
端午の節句にちなんで

端午の節句を前に「かぶと・こいのぼり作り教室」が4月21日、子ども館で行われました。参加した子どもたちは最初にかぶととこいのぼりの話を聞くと早速、牛乳パックに思い思いのデザインを描くこいのぼり作りと金銀鮮やかな色紙を使ったかぶと作りそれぞれに挑戦。およそ1時間半かけて作品を完成させると「玄関かテレビの上に飾りたい」、「かぶとをぬいぐるみにかぶせたい」とうれしそうに話していました。



きれいに折れたよ



松崎や宝田地区からも訪れる人が

宝徳寺観音堂例大祭

子どもの健やかな
成長を願って

成田ニュータウン地区に残る唯一のお寺で、建物の形から通称六角堂と呼ばれる宝徳寺観音堂(玉造・市指定有形文化財)で4月18日、例大祭が行われました。宝徳寺の本尊は子育て観音ともいわれ、お堂の中では安産と子どもの健やかな成長を祈る護摩祈祷会が行われました。参加者の中には、わが子をおぶってお参りして以来、50年近く参加している人もいて「わたし若いころには露店が出たり演芸が行われたりととてもにぎやかでした」と懐かしそうに話っていました。



汽笛を鳴らして出発進行

栗山公園のミニSL

小さくても大迫力

栗山公園ではおなじみの風景となったミニSL無料乗車イベントが4月15日に行われ、たくさんの親子連れが同公園を訪れました。石炭を燃やし蒸気を吹き上げ、汽笛を鳴らして走るミニSLは小さいながらも迫力満点。乗車待ちの人たちが列を作るほどの人気で、何度も待って繰り返し乗車する姿も見られました。また、常設展示されているD51型蒸気機関車では、無料開放のほか運転室で元機関士による解説が行われ、子どもだけでなく大人も興味深く見聞きしていました。このミニSL運行とD51の開放は毎月(12月・1月を除く)1回実施され、次回は5月27日(日)の予定です。



D51を動かす機関に興味津々



実践的な授業で英語をより身近に(吾妻中)

成田市が国の構造改革特区の認定を受け、平成15年度から推進している「国際教育推進特区」の研究開発学校に本年度から遠山、久住、豊住、吾妻、玉造の各中学校と美郷台小学校が加わりました。このことにより成田地区すべての中学校8校では英語科総授業時数が拡充、小学校22校では「英語科」が設置されました。各校では実践的コミュニケーション能力の基礎を育成するための独自のカリキュラムを展開しています。

国際教育推進特区
新たに5校が
研究開発学校に指定

AED(自動体外式除細動器)

もしもに備え、 全市立中学校に設置

学校行事などでもしものことがあった場合に備え、AED(自動体外式除細動器)が4月に、市内の全市立中学校に設置されました。市では今後、教職員への研修を通じて生徒の思いがけない事故や病気に迅速かつ適切な対応ができるよう取り組んでいきます。AEDは急な不整脈などにより心停止した場合、電気ショックを与えて心臓の機能を正常な状態に戻す医療機器で、市役所本庁舎、保健福祉館、市体育館などにも設置されています。



急な事故や病気に対応(成田中)